

公認会計士法友会会報

公認会計士法友会

第22号

平成29年7月1日

平成28年度公認会計士試験合格祝賀会・研修会を開催 (P.5)



平成28年度定期総会・会員研修会・懇親会のお知らせ (P.10)

(日時) 平成29年7月10日(月)

17:15 受付開始

17:30 定期総会(ボアソナード・タワー6階610教室)

17:50 研修会(ボアソナード・タワー6階610教室)

演題:『AIは公認会計士の脅威となるか』

講師:河西正之(平成元年卒)

19:00 懇親会(ボアソナード・タワー25階スタッフクラブ)

20:30 解散・2次会(場所未定)

(場所) 法政大学ボアソナード・タワー

※総会と研修会は6階610教室、懇親会は25階スタッフクラブ

(会費) 公認会計士 10,000円

試験合格者及び会計士補 5,000円

※当該金額には平成29年度会費5,000円を含みます。
出欠席のご連絡は、送付しております往復ハガキもしくはメールにてお願いいたします。

目次

会長挨拶	2	平成28年度定期総会の議案等	8
雑感	4	「法政士業の会」便り	10
平成28年度公認会計士試験合格祝賀会・研修会	5	各種参加報告	11
平成28年度公認会計士試験合格者の近況	6	年度会費及び寄付金のご協力をお願い	12
2017年9月より寄附講座「実践会社実務論」再始動!	8	編集後記	12

同封物:会報、郵便口座振替用紙

会長挨拶

会長 太田 莊一(昭和52年卒)



公認会計士法友会の会員の皆様、各方面でのご活躍、お喜び申し上げます。

一昨年度より、和食克雄前会長(現顧問)から会長を引継ぎいたしましたから、あっという間に2年が経とうとしています。この間、会員の皆様には、多大なるご支援とご賛同をいただき、誠にありがとうございました。特に、毎年決まったように貴重な浄財をご寄附いただいている会

員、また、総会、祝賀会等の行事には必ずご出席いただいている会員諸氏には、誠に感謝に堪えません。本当にありがとうございます。

おかげ様で、法政大学の内外における公認会計士法友会のプレゼンスを益々高めることができているのも、会員の皆様方のご尽力とご協力の賜物であると、役員一同を代表いたしまして深く感謝申し上げます。

さて、私自身、2年前の就任時に、法友会の『会員の相互交流・親睦を深めるとともに、母校の発展と後進の育成に貢献する』という目的に基づき、現在の法友会活動の基礎を確立されました和食前会長及び飯塚前事務局長の基本路線を継承しこれを更に発展、充実・拡大していくと共に、新しい若い世代の会員への橋渡し役になるという「初心表明」を振り返ってみますと、役員各位のご協力により、なんとか2年間やってこられたものの、まだまだ不十分なところが多々あり、特に、新しい若い世代への継承はこれからというところと認識しております。今後とも、会員の皆様からのご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

さて、この1月から6月までの法友会活動についてご報告いたします。

【平成28年度公認会計士試験合格祝賀会について】

平成29年1月21日(土)に、法政大学における『後進の育成』のための活動として最大のイベントである公認会計士試験合格祝賀会を開催いたしました。今年度より公認会計士法友会の主催ということで、ご来賓には、法政大学の田中優子総長のほか、日本公認会計士協会の関根愛子会長にご臨席いただき、合格者に対してのお祝いと今後の会計士としての心構えや業界の将来を踏まえた激励の言葉をいただきました。(祝賀会の詳細報告については、後掲の記事ご参照。また、法政大学のHPの法政フォトジャーナルを是非ご覧ください。)

合格者の皆さんには、この感激を忘れずに、また、当日

ご都合で出席出来なかった合格者には、校友会からのお祝い品が郵送されていると思います。お世話になった先生方そして先輩の方々への感謝の気持ちを忘れずに、実社会でご活躍されることを期待しています。そして来年の合格祝賀会には是非、先輩会員として出席してください。

ご来賓の皆様方、そして会員の皆様にはお忙しい中をご出席いただきまして本当にありがとうございました。来年度も是非よろしく願い致します。

【「法政士業の会」設立記念講演会及び研修会の開催について】

平成29年3月18日(土) 昨年度設立されました「法政士業の会」の第1回目の行事として、記念講演会と研修会が開催されました。(詳細報告については、後掲の記事ご参照。また、法政大学のHPの法政フォトジャーナルを是非ご覧ください。)

基調講演者の坂本光司先生には、お忙しい中を快くお引き受けいただき、貴重なお話を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。また、法友会会員の皆様方には、今回も五士業団体のなかでいちばん多くの参加者数となりましたこと、大変ありがとうございました。今後とも、公認会計士法友会としては、士業の会の活動に積極的に関わってまいりますので、是非ご協力ご賛同のほどお願い申し上げます。

【寄附講座の開講準備について】

『母校の発展と後進の育成』という法友会の目的の活動として、現在いちばん注力しております「経営学部の専門教育特別講座としての寄附講座」を今年度の秋学期より再度、開講することになりました。開講にご尽力いただきました経営学部の筒井知彦先生には厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

一昨年までと同様に、実務の第一線で活躍している当会員の公認会計士15名が、実務のトピックなテーマを学生にわかりやすく講義します。(詳細日程については、後掲の記事ご参照。)今回も講師をお引き受けいただきました会員の方々には本当に感謝申し上げます。是非よろしく願いいたします。

会員の皆様には懐かしい58年館の教室にぜひ聴講に来ていただきたいと思います。また、今後はさらに若手の会員に講師をお願いしたいと思いますので、是非ともご協力のほどお願いいたします。

【会員寄付の拡充について】

今後、特に注力していきたい活動といたしましては、会員の皆様からのご寄付浄財をいかにして拡充していくか

という課題に対する対応です。法友会活動は会員の皆様からの会費・寄付金の浄財により成り立っています。昨今、会員の高齢化とご寄付賛助者数の減少により、当会の財政収入にも少なからず影響が出ております。一方、活動の範囲は拡大しており、特に、昨年度より創設いたしました大学高度会計人育成センター主催の簿記チャンピオン大会成績優秀者に対する公認会計士試験受験のための「奨学支援金制度」についてはこれを継続し、さらに充実したものにしていくためには、原資として会員の皆様方からのご寄付浄財が不可欠であります。今後も公認会計士を目指す学生の経済的支援のための活動を拡充していくことを検討していきたいと思っておりますので、会員の皆様には、是非ともご理解とご協力のほどお願いいたします。

【法政大学校友会への協力について】

一般社団法人法政大学校友会の終身会員登録につきましては、会員の皆様方のご協力ご賛同により、一昨年に追加登録を行い、現在合計83名ということで職域団体のパートナー組織の中でも有力な(士業団体の中では最大)のOB団体として更にプレゼンスを高めることができました。今年度はこれをさらに拡大して100名を超える規模の終身会員登録を目指していくことが必要であり、このための資金も必要となります。

校友会は、当法友会会員の和食克雄校友会理事、矢部豊校友会監事を基軸として、母校の発展のために更に活動を強めていくこととなりますので、会員の皆様にはご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

昨今、大企業の会計不祥事等が続発しており、大手監査法人ではガバナンス改革を求められるなど、業界の動きが注目されておりますが、今年も1,000名を超える試験合格者が輩出され、当法友会にも多くの新しい仲間が増えました。

将来のある若い皆さんが生き生きとして集い結べる業界・魅力ある士業となるよう、法友会としてもまだまだやるべきことはたくさんあります。

【学校法人法政大学の役員への参画について】

最後に、このたび学校法人法政大学の役員の変更が行われ、卒業生校友からの役員として、小職が「監事」に、矢部 豊副会長が「評議員」にそれぞれ選出され、この4月1日に就任いたしました。

私自身、法政大学卒業の公認会計士として母校の監事という名誉ある、そして重責ある役職を拝命できましたことは、和食顧問をはじめとするこれまでの諸先輩方のご尽力のおかげであり、深くその任務の重さを任じております。

大学監事の職責は、「学校法人の業務の執行及び財産の状況の適正性を確保することによって、本学の健全な経営に対する社会一般の信頼に応えること」でありま

す。このたび、公認会計士＝会計及び監査の専門家として推挙されたものと任じておりますが、学校法人の財務の健全性は、企業とは異なり、教育研究施設や体制を永続的に維持することを担保するための財務構造が必要なこと、また、大学監事は、会計監査よりも寧ろ、業務監査そして「教学監査」に重点が置かれていることなど、公認会計士の業務コンサルティング能力と教育の現場の認識がより一層必要とされることと存じております。微力ではありますが、非常勤の学外校友監事としてその職責を果たし、母校の健全なる発展に寄与することができるよう努力したいと存じております。

任期は4年ですが、是非、今後も継続して公認会計士法友会から大学役員を輩出することができるよう尽力したいと存じておりますので、会員の皆様のご支援ご鞭撻のほどなにとぞよろしくお願い申し上げます。

大学監事としての最初の業務は、4月3日に日本武道館で行われた入学式への参列でした。新入生とその保護者約4千人を前にしてステージ壇上で緊張する貴重な経験をさせていただきました。新入生全員の目の輝きに見つめられていると、これからの若い世代に対する我々の責任の重さをしみじみと認識させられる場になりました。

入学式も最後の締めは、全員での校歌とエールでした。「フレー！！フレー！！法政 ガンバレ！！ガンバレ！！新入生」



雑感

山田 努(昭和59年卒)



ここ数年の間に、法政に関わる機会が増えた。昭和59年に2次試験合格し、監査法人に入所した後は主に監査業務に従事し、監査法人内の法政OBである佐藤廣昭先輩や岸野勝さんとは法政のことを話題にすることはあったが、平成18年9月に法友会が再結成された後も支援者という位置づけではあったもののロクに会合にも参加

せず合格祝賀会に顔を出す程度で、法友会運営には何の役にも立っていなかった。転機になったのは、平成25年4月に寄附講座が開講し講師を引き受けたことである。その後、平成26年4月に子どもが法政大学に入学、平成27年7月には法友会副会長の増員(4人→7人)に伴い副会長に就任し、法政士業の会の設立準備会合に出席するなど市ヶ谷に来る機会が増えた。平成28年7月からは会計士協会(法政大学から徒歩5分)に向向となり、今は市ヶ谷で過ごす時間が多くなった。このような最近の状況変化から感じたことをいくつかとりとめもなく書いてみる。

(寄附講座から見た最近の大学・学生)

在学中はあまり授業にも出なかった自分が、30年以上経って母校で講義をすることになるとは感慨深いものがあったが、30年前とは大学や学生の雰囲気はずいぶん変わっていることに驚いた。自分は経営学部で学生はほとんど男子だったが、今は寄附講座も半分は女子学生。また、男子学生も含めて授業への出席率が高い。2017年には私大志願者数ランキングで法政大学が東日本でトップに躍進したというニュースも聞き、母校の発展は喜ばしいところである。前回寄附講座の講義を行った外濠校舎や、ポアソナード・タワー、ゲート棟など新しくきれいな建物が多いのもよいが、今秋開講する寄附講座は855教室。58年館の5階の教室である。学生時代に校舎から靖国神社の奉納相撲を眺めたことを思い出した。取り壊し前に58年館で講義できることは大きな楽しみである。

(東京六大学野球)

法政が東京六大学の1つとして、世間一般から広く認められているのは、学力の高さやOBの数などではなく、やはり東京六大学野球リーグ戦の加盟校であることが拠り所であろう。寄附講座で講義するとき学生向けの世間

話になるかと思い4年前の春に神宮に足を運んだ。今はOBも応援席(昔の学生席)に入れるので、応援団とともにチャンスHOSEIでストレス解消したいと、ここ3年ほど毎試合応援に行っている。自分は小早川と同世代で在学中に4回優勝を見た。今も当然法政は強いと思っていたが…この4年間は苦汁をなめるシーズンが続いている。東大が94連敗で終止符を打った試合を目の当たりにしたり、信じられないような負け方をしても、それでも次は勝つだろうと信じて通いつけている。今春の後半戦に「これは、法政無敗伝説の始まりに過ぎない。」というキャッチコピーがあった。そのとおりに東大戦に連勝し(辛勝ではあったが)、現在リーグ戦6連勝中。このまま勝ち続け秋シーズンに天皇杯を奪還することを願うばかりである。

(監査の品質)

平成28年7月から日本公認会計士協会品質管理レビューアールとして出向している。平成28年1月に会長通牒「公認会計士監査の信頼回復に向けた監査業務への取組」が発議されているが、「信頼回復に向けた」という表現を使うということは、今の監査は社会からの信頼が損なわれていることを協会自らが認めた非常事態宣言だと理解している。このような状況下で会計士協会の自主規制も多くの課題を抱えている。監査事務所も会計士協会も信頼回復のための改善にがんばっていることを社会から理解がもっと得られるように発信できないかと考えている。大手監査法人、中小監査事務所の課題は異なるかもしれないが、不正を見逃さないという点では同じだと思う。レビューアール在任中に法友会会員研修会の場などの機会があれば、監査の品質について語ってみたいと思うこの頃である。



リーグ戦終了後、選手とえこぴよんと記念撮影
筆者:前列右から2人目(小さくてすみません)

平成28年度公認会計士試験合格祝賀会・研修会

事務局より

平成29年1月21日(土)に「平成28年度公認会計士試験合格祝賀会」を開催しました。

今年度の合格者は33名で、「三田会調べ」によると、法政大学は9位となっています。

「公認会計士試験合格祝賀会」には、田中優子総長をはじめ、日本公認会計士協会の関根愛子会長、理事、後援会、校友会、同窓会及び士業のOB・OG会、学部長などの大学関係者、公認会計士のOB・OG、約120名が出席しました。

太田会長の挨拶に始まり、田中総長の祝辞、関根会長の祝辞と続き、合格者と来賓の方で記念撮影を行いました。その後は後援会賞、校友会賞の授与が行われ、乾杯、歓談となりました。

歓談後は、来賓や先輩方による激励の言葉が続き、応援団による応援歌・演武が行われ、最後は、全員で校歌斉唱を行い、和食顧問の挨拶で終わりました。



平成28年度公認会計士試験合格祝賀会時の会員研修会



合格祝賀会と同日に開催された下院研修会は、「士業の原点と役割」と題して、法政士業の会会長の金子征史氏に講演をいただきました。法政法曹会会長でもありません。

通常は法友会の会員ですが、法政法曹会、不動産鑑定士橙法会など、他の士業の人たちも参加しておりました。

士業とは何か、士業の責務と課題について、解説をいただきました。

日頃考えることのないテーマでしたので、いきっかけになりました。



平成28年度公認会計士試験合格者の近況

合格者の近況を自ら報告していただくコーナーです。

●田中 音羽(4年在学中)



法友会の皆様、いつもお世話になっております。経営学部経営戦略学科4年在学中、平成28年度合格の田中音羽と申します。

・公認会計士を目指したきっかけ

公認会計士を目指した動機は、なんとなく大学生生活を過ごすのではなく、一生懸命になれるものを見つけたいと思ったことです。私は、4月に大学に入学した当初、簿記がどのようなものかということさえ知りませんでした。大学の授業が終われば、サークルやバイトをするというような典型的な大学生活を送っており、入学してからあつという間に夏休みになったように思います。このとき、大学に入学して半年間、サークルやバイトなどに追われる日々であったことを振り返り、このままでは何も得るものがないまま大学生活が終わってしまうと感じました。そして、一生懸命になれるもの、新しく挑戦できるものを探していたとき、友人から大学内で簿記検定を取得するための講座が開設されるということを知り、講座に申し込むことを決意しました。このような経緯で、簿記の講座に巡り会ったことが、私が公認会計士を目指す1番最初のきっかけとなるできごとであったと思います。

・受験時代について

勉強を始めた当初は、公認会計士試験の勉強は長期にわたるため、1人でモチベーションを保って勉強していけるか、途中で挫折してしまうのではないかと、という不安の方が大きかったように思います。しかしながら、公認会計士を目指す人たちが集まる講座室に入ったことにより、先輩に分からないところを質問することができ、同学年の友人とはライバルとして日々切磋琢磨し、受験生活を乗り切ることができたと感じています。もしも1人で勉強していたら、在学中の合格は出来ていなかったであろうことを思うと、法政で公認会計士試験の勉強ができてよかったとあらためて実感しております。

・現在の活動

現在は、TAC株式会社で予備校講師として働いております。主な業務内容としては、講義や問題作成、セミナー、質問対応等を行っています。働いてみて、私が公認会計士試験の受験勉強として得た知識はほんの一部にすぎないとい

うことがわかり、勉強というのは、試験に合格したら終わりではなく、合格した後からが本当のスタートであると認識をあらためました。今後は、私自身が知識と意識をとともに高め、よりよい教材や授業を提供できるように、日々精進して参りたいと思っております。

・プライベートの過ごし方

私は、高校生でなぎなた部に所属していたため、卒業後も地域の連盟に所属し、平日の夜や休日になぎなたのお稽古に行くことがあります。私はなぎなたのお稽古を通して、多くのことを学んできました。たとえば、礼儀作法です。なぎなたのお稽古や試合は必ず礼に始まり、礼に終わります。また、試合で勝った際に、他の競技だとガッツポーズなどの光景が見られることがありますが、なぎなたはお相手があつて成り立つ競技ですので、ガッツポーズなどは無礼とみなされて勝ちが取り消しになることがあり、礼を尽くすということの大切さを、なぎなたを通して学んでおります。

また、お休みの時には、旅行に行くこともあり、今年は京都に行って参りました。神社、寺院、京都の街を散策しましたが、着物を着て巡るとまた一段と雰囲気があり、とても楽しかったです。京都には重要文化財や歴史的建造物が多く、実際に訪れると、その迫力に圧倒されるばかりでした。何度訪れても楽しめるすてきな雰囲気のある街だと思いますので、ぜひまたの機会に旅行に行きたいと考えております。

・最後に

法友会の皆様、先日は平成28年度公認会計士試験合格祝賀会にお招きいただき、誠にありがとうございました。まだまだ未熟者ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



●相澤 優(平成25年卒)



法友会の皆様、はじめまして。去年の論文式試験に合格し、2月に新日本有限責任監査法人の長岡事務所に入所いたしました、相澤 優と申します。長岡といってもご存じない方もいらっしゃると思いますが、新潟県

のほぼ中央部に位置し、夏には日本三大花火大会が開催される田園風景が広がるのどかな所です。

私は昨年の論文式試験の受験が4回目でした。友人が合格していく中で受け続けて行くのは精神的には辛いものでした。2回目の受験に失敗し、前法友会会長である和食先生に受験を辞めて働きたいとご相談したときに「この長い人生の1年2年なんて短い時間なのだから就職活動は心配せず精一杯打ち込んでみなさい」とお話ししていただかなければ今の自分ではなかったと思います。合格祝賀会の案内が届いた時、先生方、OB・OG、友人達と合格の喜びを分かち合えることを楽しみにしていましたが、補習所の日程の関係で残念ながら参加することができませんでした。後日、校友会賞を頂き改めて合格の喜びと支えてくださった方々に感謝の気持ちで一杯になりました。いつも励ましてくださった先生方、先輩方にこの場をお借りして、お礼申し上げます。今後は微力ではありますが法友会に加わり、後輩の育成等に少しでもお役に立てるよう一層精進に努めたいと思います。

合格発表から早8ヶ月が過ぎましたが、振り返るとあっという間だったような気がします。毎週の補習所通い、東京での新人研修、繁忙期の監査業務、私の結婚式など、慌ただしくも濃い時間を過ごさせていただきました。以下に現在までの様子を簡単にご紹介したいと思います。

補習所については、新潟県会の補習所は現在3名のJ1が在籍しています。とても人数が少ないですが、ディスカッションがある場合は立会人のパートナーやマネージャーも積極的に参加して下さるため、密度の濃い講義が受けられる点が地方のメリットといえるかもしれません。また、東京では平日の夜に補習所が開講されますが、こちらでは基本的には毎週土曜日に行われます。多い時には土日続けて補習所に通う場合もあります。繁忙期も終わり補習所が再開し、週末も忙しくなりますが自己研鑽に励んでいきたいと思いません。

プライベートでは繁忙期に入る前に結婚式を挙げました。とても慌ただしく、お酒も飲まずに帰って翌日から仕事、というスケジュールでしたが今ではいい思い出です。

繁忙期の監査業務では金融・製造・建設・サービス・小売からパブリックと、21社のクライアント先に呼んでいただき様々な業種を経験することができました。このように様々な

クライアント先に関わらせていただいた経験は今後の監査実務の大きな糧となるものと感じています。

6月に入り繁忙期もひと段落し、先週は事務所のマラソン部として南魚沼グルメマラソンに出場しました。6名参加し半数が法友会所属のメンバーという中、皆さんに続いてなんとか完走することができました。完走後の魚沼産コシヒカリの食べ放題は疲れてしまって参加できませんでしたが、事務所の皆さんと交流を深める事ができ非常に良い機会でした。

7月からは新しいチームに配属されることが決まり5社のコアメンバーに選ばれています。その中に社会福祉法人のクライアント先があり、今年度から法定監査が適用になるため、web研修を受けたり書籍を読んだり充実した日々を過ごしています。来週は東京で社会福祉法人の研修にも参加する予定なので、ついていけるようしっかり学んできたいと思います。

簡単ながら以上を近況報告とさせていただきます。最後になりますが今後とも何卒ご指導ご鞭撻のほど、よろしく願い致します。



上高地ハイキング

2017年9月より寄附講座「実践会社実務論」再始動！

伊藤章子(平成14年卒)

会員の皆様、2013年度から始まり、2014年度、2015年度と3年間続いた寄附講座「実践会社実務論」が2017年度より再始動します！

実施期間は、2017年9月21日から2018年1月18日まで、全15回にわたって開催されます。実施時間は、毎週木曜日の第2限(11:10～12:40)、実施場所は、855教室(58年館5階の8番教室)となっております。

太田会長の新体制のもと、前回まで和食先生が担当されていた第1回のガイダンスを太田会長、太田会長が担当されていた第13回の講義を若手の森口さんにご担当いただくことになりました。

担当教授である経営学部の筒井先生より、寄附講座への関心をひかせるため、例えば、税理士法人であれば、仕事現場をビデオ等で紹介する等、実務に従事している会計士ならではの、実践的・具体的な内容を盛り込んだ講義を展開してもらいたいというリクエストをいただいたため、第2回の古田土さんの講義及び第11回の石川さんの講義で、動画放映を企画しております。

第2回の古田土さんの講義では、古田土さんが代表をされている『株式会社 古田土経営』が取り上げられた2016年6

月6日放送のテレビ東京「ワールドビジネスサテライト」のコーナー「カイシャの鑑(かがみ)」を放映予定です。

第11回の石川さんの講義では、石川さんが代表をされている『あいわ税理士法人』がYouTubeにアップしている、女性の新人職員と男性の中堅メンバーの2名の方の仕事現場や仕事に対する意気込みを語った動画を放映予定です。

なお、寄附講座の概要は以下の表の通りですので、お時間調整いただき、会員の皆様に見学・応援に来ていただくことを講師一同、心待ちにしております。

ご指導ご鞭撻、なにとぞよろしくお願いいたします。運営結果は次回会報にてご報告させていただきます。

【2017年度のカリキュラム概要】

寄附講座・実践会社実務論(筒井知彦教授)

授業コード:A4505/学部・研究科:経営学部/カテゴリー:選択・特殊講義

時期:秋学期/単位:2単位/曜日・時限:木曜日2限目(11:10～12:40)

キャンパス/市ヶ谷・855教室/年次:2～4

平成28年度定期総会の議案等

会長 太田荘一(昭和52年卒)

平成29年7月10日に平成28年度定期総会を開催いたします。今回の総会は、役員改選期にあたるため、定例の議案の他に役員改選を追加いたします。

1. 報告事項

・事業報告

会員数の推移

定期総会及び懇親会

法友会活動の活性化

会員研修会

奨学支援金制度

公認会計士試験合格祝賀会

会報

会員名簿の発送と更新

公認会計士法友会のプレゼンスを高める活動の推進

法政会計人会との連携、他大学の公認会計士会との交流

オール法政ゴルフ大会「総長杯」及びCPAゴルフ「十月会」

会費納入状況

・収支報告

・監事監査報告

2. 決議事項

・事業計画

奨学支援金制度の継続

校友会員の追加登録

公認会計士試験合格祝賀会

会費納入状況と改善方策の検討

その他

・予算案

決算・予算概要	H28年度予算	H28年度実績	H29年度予算
会費・寄付金	3,150	2,411	3,450
校友会より	720	720	720
収入合計	3,870	3,131	4,170
総会・祝賀会開催費用	1,950	2,098	1,950
終身会員登録	600	-	600
奨学支援金	300	50	550
その他	1,070	908	1,320
支出合計	3,920	3,056	4,170
収支差	▲50	75	0
前期繰越	874	874	949
次期繰越	824	949	949

・役員改選案

現役員は再任とし、幹事の増員

法政大学 経営学部 2017年度 秋学期 寄附講座「実践会社実務論」(毎週木曜日・2時限目 11:00~12:30)

回	予定日	講師	テーマ	内容
1. 会社の経営理念・ビジネスモデル・企業行動組織				
第1回	2017/9/21	太田 荘一 (1977経済)	ガイダンス 会社の仕組みを理解しよう	本講座の目的、講師陣の紹介、全体概要、レポート提出要領の説明。 会社の株主総会、取締役会、監査役会、指名等委員会、内部監査等の会社組織、コーポレートガバナンスを説明。会計監査及び管理部門の役割・期待、実際の仕事のイメージ、管理の仕組みを学ぶ。
第2回	2017/9/28	古田 土 満 (1976経営)	「経営理念」に基づいた事業展開を全社一丸でいかに行うか知っておこう	経営者はどうやって将来へのプランを描き、実行して行くのか。社会貢献を含めた経営理念、経営者と社員のコミュニケーション、従業員の士気を高める方法を学ぶ。
第3回	2017/10/5	赤岩 茂 (1980経営)	活力ある企業の条件を理解し、会社選びで実践してみよう	現在、様々なメディアで若者を使い捨てにするブラック企業が報じられているが、これとは全く正反対の人を大切にしている経営を実践している企業が存在している。その特質はどこにあるのか、人を大切にしている企業の見分け方を学ぶ。
第4回	2017/10/12	松原 恭司郎 (1974経済)	知りたい会社の「ビジネスモデル」を解析する力を磨こう	ビジネスモデルを知り、企業研究に役立つ分析力を養成する。①ビジネスモデルの意義と基本構造、見える化の手法、②ビジネスモデルの代表的なパターン(フリー、シェア等)、③注目企業のビジネスモデルの見える化とポイントを学ぶ。
第5回	2017/10/19	伊藤 章子 (2002法)	企業行動の仕組みを知っておこう	企業のあるべき姿を説明しつつ、会社法概要、組織構造、スチュワードシップ・コード、コーポレートガバナンス・コードなどの知識および経営者と投資家の行動を上場会社の内容を中心に学ぶ。
2. 会社の内部統制とリスク				
第6回	2017/10/26	山田 努 (1984経営)	会社にとってのリスクと内部統制について理解しよう	企業を取り巻く様々なリスクを考えるとともに、リスクへの対応として内部統制のフレームワークを学ぶ。企業のリスクとして倒産や不正(特に粉飾決算)についても説明。
第7回	2017/11/9	仁木 一彦 (1998文)	会社で生じる横領や汚職といった不正事件について知っておこう	社員や経営幹部による不正の実態、実際に発生した事例・手口(横領、汚職など)、会社存亡の危機に至らない未然の対処策、不正が発生した時の対応を学ぶ。
3. 会社の成長戦略と出口戦略				
第8回	2017/11/16	三浦 太 (1985経営)	健全な会社成長に必要な「IPO(新規上場)」について知っておこう	IPOとは何か? IPOのメリット・デメリットは何か? どんな会社が上場しているか? IPOによって企業はどのように成長していくか? 投資家が期待する上場会社とはどんな会社か? IPOの実例も交えながら一般的な内容を学ぶ。
第9回	2017/11/23	草深 文理 (1996 工学部 電気工学科)	M&Aについて理解しよう	M&Aとはどういうことか? M&A・企業再生の概要、経営における役割・期待、企業成長プロセスとの関係、新聞紙上を賑わした事例を紹介し、社会や経済における意義を学ぶ。
第10回	2017/11/30	發知 敏雄 (1974経営)	経営者の交代、事業の承継をいかに行うべきかを知っておこう	どの会社もいずれ経営者の交代時期が必ず来るため、財産や経営をいかに承継されるのか、会社や経営者の財産とは何か、事業承継とは何か、財産や会社経営と事業承継の関係を学ぶ。
4. 会社を取り巻く利害関係者とディスクロージャー				
第11回	2017/12/7	石川 正敏 (1983経営)	企業活動に伴う税金、企業オーナーにかかる税金、企業の承継にかかる税金について理解しよう	会計事務所の仕事現場をビデオで紹介。税金一般にかかる基礎知識も織り交ぜ、企業と企業オーナー、そして事業を承継する税務コストについて学ぶ。
第12回	2017/12/14	梅村 一彦 (1983経営)	会社はどんな情報を外部に公表しているか知っておこう	会社の内容が詳しくわかる公表資料の概要、ディスクロージャー、IR、有価証券報告書(有報)、企業内容開示の全体像と実態、会社分析手法を学ぶ。
第13回	2017/12/21	森口 輝来 (1999経営)	会社の公表する情報の活用の仕方を知っておこう	会社を分析した結果から見えてくること、数値データを活用して企業の成長プロセスや会社の優劣の見極めを学ぶ。
5. 会社を支えるITセキュリティ、グループ経営				
第14回	2018/1/11	河西 正之 (1989経営)	IT無くして、経営がままならない今、経営を支えるITを知ろう	経営に活用されているITの基礎知識、役割を説明。サイバーセキュリティ、AI(人工知能)、データ分析等の最新動向を学ぶ。
第15回	2018/1/18	越智 一成 (1997法)	多くの事業を手掛ける会社の「グループ経営」はいかに行われているか理解しよう	グループ全体の実態をいかに読み取るか、グループ経営、連結決算による業績をいかに把握するかを説明しつつ、日本と海外の経営管理手法の違いを学ぶ。

「法政士業の会」便り

山田 努(昭和59年卒)

1. 法政大学校友会との関係

法政OBの組織である一般社団法人法政大学校友会は、「地域」(東京都校友会など)、「学部」(経営学部同窓会など)、「職域」(法政財界人倶楽部など)、「スポーツ」(アメフトOB・OG会など)等の多様なパートナー組織から成り立っています。公認会計士法友会(以下「当会」という。)は職域ブロックにおける有力なパートナー組織の1つであり、以下の各氏(敬称略)が校友会の役職に就任されています。

理事	和食克雄(当会顧問)
監事	矢部豊(当会副会長)
代表議員	飯塚昇(当会副会長)、石川正敏(当会副会長)

法政士業の会の法人会員である他の士業団体も法政法曹会(弁護士)・法政会計人会(税理士)はそれぞれ単独で、不動産鑑定士橙法会は建設・不動産橙法会と連合でパートナー組織として加入しており、行政書士オレンジ会は現在加入の検討を準備中であり、各会独自の活動も盛んに行われているところであります。

一方、校友会では、2017年 オール法政 新年を祝う会にて桑野会長が次のように年頭のご挨拶を述べられています。「校友会は1887年に設立され今年130周年を10月に迎えます。この節目を大切に組織の強化策を重点策として進めます。2017年は正会員が3万人を超えパートナーも80組織になると思います。この巨大化する組織のコミュニケーションを確実なものとし、活動の舞台を校友会員にする為、「小ブロック化」を行います。本年10月1日からは職域・スポーツ・文化等の全てのパートナー組織を「小ブロック化」して行きます。」

具体的なことは校友会で検討中であり、将来どのように運営されるのか詳細はまだ明らかにはなっていませんが、パートナー組織の小ブロック化に当たり、職域ブロックにおける有力なパートナー組織同士が連携した「法政士業の会」の取り組みは1つのモデルケースとして注目され、校友会活動へのさらなる貢献を期待されているものと思われます。

法政士業の会では、オール法政 新年を祝う会のパンフレットに広告を掲載して、その設立及び存在を広く校友にアピールしました。

祝 オール法政 新年を祝う会 法政士業の会 (2016年11月26日設立)

会長 金子 征史 (法政法曹会 会長)
副会長 和食 克雄 (公認会計士法友会 顧問)
副会長 山重美登士 (法政会計人会 会長代行)
副会長 田邊 勝也 (不動産鑑定士橙法会 相談役)
副会長 塚越 讓 (行政書士オレンジ会 相談役)

「士」のつく国家資格者 個人の入会も歓迎
連絡先:hosei.shigyonokai@gmail.com

2. 設立記念講演会・パネルディスカッション・会員交流会

法政士業の会の設立を記念して、平成29年3月18日(土)に、第1部「坂本光司教授の記念講演(演題:日本でいちばん大切にしたい会社～成長する会社の人材育成と士業専門家に期待すること～)」及び第2部「卒業生資格者によるパネルディスカッション～弁護士、公認会計士、税理士、不動産鑑定士、行政書士の仕事がよくわかる、連携の可能性が見えてくる～」を市ケ谷キャンパスの外濠校舎で開催し、法政士業の会会員・一般参加者を含め約150名の参加をいただきました。また、第2部終了後、市ケ谷バル・モンパカにおいて、会員交流会が行われました。

中小企業経営論の第一人者であり「日本でいちばん大切にしたい会社」で著名な坂本先生の講演では、たいへん貴重なお話を伺うことができ、また、士業専門家に対する厳しくも温かい激励の言葉をいただきました。また、この講演の3日後に外濠校舎薩埵ホールにて第7回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞の表彰式がありましたが、「日本でいちばん大切にしたい会社」については、古田圭 満会員、赤岩茂会員にお問い合わせをされると詳しい話を聞くことができるかと思えます。

パネルディスカッションでは、太田会長がコーディネーター、山田がパネラーの一人として参加しました。他の専門士業の方々に公認会計士の仕事を紹介するとともに、各士業の連携について中小企業オーナーの相続問題を例にディスカッションするものでした。監査法人で主として監査業務に従事してきた私にとっては話しづらいテーマでしたが、中小企業支援、IPO、M&Aなどに言及してディスカッションを終えました。法政士業の会の目的の1つである各士業間のビジネス上の連携については、個人で開業されている会計士や企業内会計士、中小監査事務所の会計士の先生方を中心に活動にご参加いただくと、より活性化されるのではないかと思ったところであります。



パネルディスカッション コーディネーター及びパネラー

各種参加報告

オール法政新年を祝う会

渥美龍彦(昭和58年卒)

2017年1月28日(土)、昨年と同じ場所ながら名称が変わったグラウンドニコウ東京 会場「パレロワイヤル」に卒業生約1,000名が集い、法政大学校友会による「2017年オール法政新年を祝う会」が開催されました。

ニューイヤーコンサートとして「法政マンドリンクラブ、法政大学工学部マンドリンクラブの合同演奏」で幕を開け、「頑張れ！法政スポーツ」として、重量挙げの中山陽介選手、昨年のリオオリンピックで銅メダルを獲得した三宅宏美選手、箱根駅伝でシード権を獲得した坪田智夫陸上競技部駅伝チーム監督からのあいさつなどスポーツ活動の報告があり、田中優子総長からの新春メッセージ「大学憲章『自由を生き抜く実践知』」のお話し、校友会によるスライド上映『未来への道標 学び舎の今と昔』と続きました。

校友会豊田信哉副会長の開会宣言、桑野秀光会長の挨拶、ご来賓の法政大学田中総長のご祝辞、祖父江一仁後援会会長の挨拶

があり、菅官房長官祝辞の代読、出席国会議員2名の挨拶と続き、上田清司埼玉県知事による乾杯のご発声により会は幕を開けました。

卒業生が醸造したワインや、大学とのコラボ商品が紹介されるなどの中での食事・歓談、応援団吹奏楽部による演奏、お年玉プレゼント抽選発表会、応援団アトラクションが行われました。公認会計士法友会の座席は、今年も正面に向かって右手の一番前の良い席で、吹奏楽部の演奏などを間近に楽しむことができました。

最後は、校友会佐々木郁夫副会長の閉会挨拶と、出席者全員による校歌斉唱でお開きとなりました。

今年は、当日の様子を撮影したDVDが、後日、校友会から出席者に配布されました。

2018年オール法政新年を祝う会は、2018年1月21日(日)に開催される予定です。

公認会計士三田会 新人歓迎会&懇親会

河西正之(平成元年卒)

2017年3月28日(火)に銀座の交詢社にて新人歓迎会と懇親会が開催されました。会長が交代となり、前山田会長から池上会長にバトンタッチが行われました。前山田会長からは、三田会は世代を超えた交流の場であるものの、赤字決算となってしまったことが残念

なおおっしゃっていました。池上会長は、ガバナンス、受験生の増加(特に慶応義塾大学の受験生の増加)を施策の柱に据えたいと抱負を述べておられました。合格者は42年連続1位で今年度は139名を輩出しています。最後は校歌斉唱でお開きとなりました。

法政財界人倶楽部懇親会参加報告

太田荘一(昭和52年卒)

平成29年5月19日(金)ボアソナード・タワー26階スカイホールで行われた法政財界人倶楽部第47回総会懇親会に、飯塚副会長と太田で出席して参りました。法政財界人倶楽部は、会長の村田 紀敏セブン&アイ相談役をはじめとする上場企業の役員部長クラスの法政大学OB 組織であり、法政大学校友会の終身会員数も300名に達するパートナー組織で全国トップの実績を誇っています。

懇親会は、来賓の田中優子法政大学総長のご挨拶に始まり、同倶楽部の副会長でもある校友会の桑野秀光会長の乾杯の音頭で、歓談の輪が広がりました。

田中総長からは、給付型奨学金として企業経営者や財界人からの冠(かんむり)奨学金が増え、それが経済的支援が必要な現役学生に非常に役立っており、今後も是非拡大していただくこと

を財界人の法政OBに熱望されていました。

法友会も、昨年度より、公認会計士受験を目指す本学学生を対象とした「奨学支援金制度」を創設し微力ではありますが、学生の経済的援助にも注力しており、母校の発展と後進の育成に尽力していきたいと考えておりますので、会員の皆様にはご協力ご賛同のほどよろしくお願い致します。

(写真左から、奥山利幸法政大学常務理事、村田紀敏会長、太田)



六大学野球(2017年春季リーグ戦)の応援・観戦

伊藤章子(平成14年卒)

2017年5月20日(土)、太田会長の呼びかけのもと、有志メンバーで、神宮球場へ六大学野球、法政VS東大戦を応援・観戦に行ってきました！『経営学部同窓会』の皆様からのご厚意で内野席キップをいただき、一緒に観戦しました！5月にも関わらず、気温30度に迫る炎天下のなか、接戦を繰り広げる姿にハラハラしながらも母校の勝利を信じ、必死に応援した結果、無事、法政3点对東大2点と法政が勝利しました！試合観戦後は、神宮外苑のビアガーデンにて祝杯を上げました！

春季リーグの最終結果は、法政は3位となりましたが、是非、秋季リーグでは優勝目指して頑張ってもらいたいです！また、会員の皆様にもお声掛けしますので、奮ってご参加ください！！



小早川に会ってきました(法政大学経営者懇談会 第29回公開講演会)

山田 努(昭和59年卒)

平成29年6月13日(火)ボアソナード・タワー26フスカイホールにて小早川毅彦氏の講演会が行われると聞きつけ、参加してきました。会報22号の締め切り後でしたが、小早川に会った感激を伝えたくて、編集長に無理を言って本号掲載してもらいました。

小早川は昭和55年4月に法政大学に入学した同期(小早川は経営学科F組、私はG組)であり、法政黄金時代に4番バッターとして活躍したヒーロー。プロ入りした後も、江川投手に引退を決意させた逆転サヨナラホームランは有名な話ですが、江川との間の長年のわだかまりを今春取り除くことができたという裏話など興味深い話を聞くことができました。春のリーグ戦を終えたばかりの野球部

現役選手も講演会に参加しており、森龍馬主将に「秋こそは優勝頼む」と直接伝えました。講演会のあとの懇親会では五明公男氏(校友会副会長)、山中正竹氏(全日本野球協会副会長)、青木監督などがスピーチされ、「PRIDE～王者復活への第一歩～」(29年度野球部スローガン)を期待させる一夜でありました。



公認会計士法友会

公認会計士法友会事務局
〒169-0074
東京都新宿区北新宿4-19-15 正和ハイツ301
E-mail: hosei.hoyukai@gmail.com

母校の発展と後進育成への貢献を
目指して活動しています。

6月末現在の会員数 720名

ホームページもご覧下さい。
http://hoyukai.la.coocan.jp/
IDはhoyukai
パスワードはsanso101
(平成29年7月10日より)



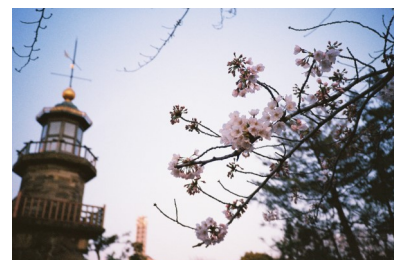
編集後記

今年度から寄附講座が新たに始まり、学生に実務の今を伝えることとなります。取り壊しとなる58年館での講義というのも趣深いものがあります。

さて、校友会関連のイベントとして、9月にゴルフ大会、10月に全国卒業生の集い(宮崎大会)、来年の1月にオール法政新年を祝う会が予定されています。

また、高度会計人育成センター関連としては、11月に簿記チャンピオン大

会が予定されています。それと、9月に開催されるJICPAの金沢での研究大会に法友会メンバーがパネルディスカッションを企画しています。



物故者について

今年度において、下記の会員の方が永眠されました。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

故 新村 公剛(昭和44年卒)

故 山中 幸雄(昭和63年卒)

年度会費及び寄付金のご協力をお願い

法友会活動は会員の皆様からの会費及び寄付金で賄われておりますが、合格祝賀会などの行事開催費、通信費などの運営諸経費、他校の会計士団体への参加費、慶弔費などの支出が必要で、会員各位のご理解とご協力なくしては、持続的な活動が出来ません。

最近、会費及び寄付金を納めていただける方が固定化し、また、減少傾向にあります。一方、会員の増加で、定期総会や合格祝賀会のご案内にかかる通信費、会報や住所録の作成費用が増大しています。皆様の、ご理解とご協力を強くお願いします。

今回の会報発送とともに、平成29年度(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)会費の納入と寄付金のお願いをさせていただきます。

また、平成28年度から「公認会計士試験挑戦者に対する奨学支援金制度」(以下、奨学支援金)がスタートしており、この支援金は会員の皆様からの会費及び寄付金で賄われることとなります。

毎年、寄付金等をお支払いいただく際に、いったいいくら納入すればよいのか分からないなどのご意見・質問が寄せられます。法友会活動は会員の皆様からの会費及び寄付金の納入で支えられていますが、皆様に大きな負担を感じさせるのは本意ではありません。あくまで会員の皆様のご厚意をお願いするものであります。

年度会費の5,000円だけでも結構ですし、年度寄付金・校友会寄付金・奨学支援金・その他寄付金などの寄付金として寄付金5,000円(一口)を加えて合計10,000円を納入いただければ助かります。

もし、ご理解をいただけるのであれば、年度会費の5,000円と寄付金の10,000円(二口)、合計15,000円を納入いただけますと大変助かります。

振込先を記入した郵便振替口座用紙を同封させていただきましたが、銀行振込をされる場合は下記の口座をお願いいたします。

銀行口座 三菱東京UFJ銀行 東中野支店(店番152)
普通預金・口座番号 1559256 口座名・公認会計士法友会

<連絡先>

〒169-0074 東京都新宿区北新宿4-19-15 正和ハイツ

公認会計士法友会事務局

携帯電話番号 080-8886-0375 m.kawa@mbr.nifty.com

法友会メールアドレス hosei.hoyukai@gmail.com

Books!

書籍の出版情報を事務局までお寄せください。会報に掲載いたします。その際に、執筆者からの一言(書籍の宣伝でもOK)も併せてお願いいたします。

※書籍寄贈中止のお願い

会計大学院(イノベーション・マネジメント研究科アカウントング専攻)の廃止に伴い、書籍を開架しておく場所が無くなってしまいました。新しい場所が見つかるまで、書籍の受入は中止させていただきたく、お願いいたします。この場合でも、出版情報は引き続き掲載したいと思っておりますので、お寄せいただきますよう、お願いいたします。